

# 環境日記 今年もW金賞

## 草牟田小

## 西伊敷小

# 学びと実践通じ児童成長

小学生が環境保全への取り組みをつづる「みどりの小遣」環境日記コンテストで、鹿児島県市の草牟田、西伊敷の両小学校が団体の部で金賞に輝いた。環境への理解を深め、自己表現力を養おうと長く参加する金賞常連校で、関係者は活動を通して児童の成長を感じると口をそろえる。



金賞の文部科学大臣賞を受賞した草牟田小学校の児童ら

鹿児島県市城山2丁目



金賞の外務大臣賞に輝いた西伊敷小学校の児童ら

鹿児島県市西伊敷4丁目

コンテストは環境保全団体グリーンクロスジャパン(さいたま市)が、1999年から開催。今年は8週間の日記帳を書いてもらい、全国128団体4159点の応募があった。草牟田小はかこしま環境

未来館による出前授業を開くなど、児童が日頃から環境について考える機会をつくる。コンテストは4年生以上が参加し、今年は個人部で20人が入賞した。団体の部は文部科学大臣賞を受け7年連続の金賞だった。

6年の緒方寛幸君は個人の部で外務大臣賞(金賞)を受賞。一生ごみを堆肥化するコンポストなど、自宅で家族と協力して取り組んできたエコ活動が評価され「うれしい」と喜んだ。

西伊敷小も4年生以上で取り組み、個人の部で17人が入賞。団体の部は外務大臣賞に選ばれ、少なくとも8年連続の金賞。曾段からペットボトルのキャップやアルミ缶の回収活動、食品ロスについて考える授業などに取り組んでいる。

家族で行った浜辺のごみ拾いをつづった6年の竹ノ上美咲さんは、東京都知事賞(金賞)を受けた。「これからも自分でできる環境保護を考え、行動していきたい」と話した。

(山田大真)

